

未来の介護！介護ロボットを活用

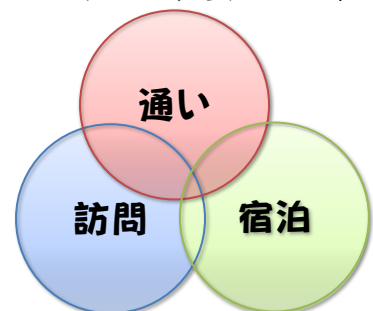
先日、介護ロボットの展示会に行ってきました。ロボットが人のお世話をする。未来の話が現実味を帯びてきています。そもそも介護ロボットとは、どのようなものなのでしょうか？調べてみると、ロボット介護機器には定義があり、センサー等により外界や自己の状況を①認識する（センサー系）、②得られた情報を判断する（知能・制御系）、③結果に応じた動作を行う（駆動系）と言う3つの要素技術を有する知能化した機械システムの事を指すそうです。そしてロボット介護機器を活用して①介護現場の生産性向上、②利用者の自立支援、③介護が必要な人と介護する人双方の負担軽減に役立つ介護機器を介護ロボットと呼んでいるそ

うです。展示されていたロボットの中には、ペットの样に見つめ話しかけると反応してくれて、付かず離れずそばにいる（コミュニケーション）人形や仮面ライダーの様に介護者が身にまえば楽に重い物を持ち運べる（着用型動作補助装置）マッスルスーツ。こちらの動きに反応し能動的な映像で楽しくリハビリを行い、利用者の視覚・聴覚を刺激する、リハビリ映像機器など多種多様なロボットが開発されており、実際に介護の現場で実用する事が可能になれば、介護の人材不足の解消にもつながります。また、若い人も高齢者も自分の好きな場所で好きな人生を送ることが出来る未来が来ることを信じたいものです。

土筆・土筆の郷 各サービスのご紹介

▼小規模多機能型居宅介護

必要な時間に必要なことだけ利用できるサービスです。ご利用者様一人ひとりに合わせて時間や曜日もオーダーメイドすることが可能で、突然の利用や泊まりなどにも24時間365日対応いたしますので、安心して在宅生活が遅れます。



通い 送迎やお食事の提供をはじめ、看護師による健康チェックや入浴・排せつ介助、レクリエーション、機能訓練などを行います。

訪問 スタッフがご自宅に伺い、その時の状況やご利用者のご希望などにより、お食事や入浴・排せつ介助、家事のお手伝いなど「通い」では支えきれない時間帯の支援をいたします。

宿泊 急な宿泊も可能で、ご利用者の様態に合わせてご利用できます。

スタッフ募集 土筆の花言葉「意外」「驚き」「向上心」

土筆は、利用者様や入居者様一人ひとりに寄り添い、介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活が出来る施設を目指しています。また、託児所が併設されているので、ご家庭に小さいお子様がいらっしゃる方も安心して短時間でも働く事が出来ます。土筆では、60歳を過ぎた方も現場で活躍しています。まだまだ現役で働きたい方、介護に興味のある方、私達の仕事を見学に来ませんか？お問い合わせだけでも大歓迎！まずはお気軽にお問い合わせください。（担当：小野）

■介護員（正社員・パート）

- ・小規模多機能型居宅介護
- ・グループホーム

■ホームヘルパー（パート）

資格・普通自動車運転免許

- ・介護職員初任者研修修了者または、ホームヘルパー2級以上 いずれか

福祉・介護の資格は必要ありません！
資格取得を目指す方のお手伝いも致します。

(有)ケア・コラボレートK・H

介護保険事業所 土筆

<http://tukushi-t.jp/>

〒073-0024

滝川市東町4丁目2番11号（土筆の郷）

☎ 0125-26-0294

FAX 0125-26-0200



January 2024

今年も一年ありがとうございました
どうぞ良いお年をお迎えください

No.84 土筆広報誌 Winter news

▼あたたかい気持ちをこめて（グループホーム 土筆）





最高気温が氷点下となり、冬本番となりました。外が真っ白な雪に覆われて、廊下が寒いと感じる季節です。土筆では、冬の寒さに負けないように体を動かす、冬の運動会など、室内で楽しめる行事を行いました。利用者様のご様子と共に一部をご紹介します！



ポインセチア
グループホーム

土筆 大運動会



選手宣誓



玉転がしリレー



パン食い競争



メダル授与



玉入れ



11月27、28日の2日間、デイサービスと小規模多機能の合同で第8回土筆大運動会が開催されました！赤チームと青チームに分かれて、チーム対抗戦の運動会です。初めに代表の利用者様によりまず、選手宣誓です。片手を高く挙げ、少し緊張しながらも堂々とした選手宣誓から始まり、競技に移りました。まずは、玉転がしリレーです。サッカーボールくらいの大きさのボールを発砲スチロールで出来た大きなハンマーで転がしながら、次の走者のところまで運んでつなげる競技で、なかなかまっすぐに転がすことが難しいボールに皆様、悪戦苦闘されながらも「難しかったけれど、あっという間に終わっちゃった～」と笑顔で話されていました。次の種目は、玉入れです。職員が持つカゴの中に狙いを定めて、玉を入れていきます皆様熱心に玉を投げ入れ、周りの観客からは、ポンポンやカスタネット、ミニタンバリンなどを用いた「がんばれ～！」の声援が上がり、大いに盛り上がりました。最後の種目は、パン食い競争で、競技で取ったあんパンは、運動会の後におやつとして美味しく召し上がっていただきました。参加された、利用者様からは、「いい運動になって、楽しかった～」と喜びの声を頂きました。

茶大豆のより分け

(シェアハウス、小規模多機能型住宅介護)



大豆として育てた、だだちゃ豆を乾燥させ、シートに広げて棒などで叩き、中の実を取り出す作業を秋に行いました。大豆の鞘や細かな枝などと豆が混ざっていたので、利用者様と大豆をより分ける作業を行いました。茶豆の大豆は薄茶色をしており、見慣れた黄色の大豆とは違うため、茶大豆と呼ぶそうです。「この豆は、大豆なの？小豆みたいだね～」と小さな豆のより分けを行ってくださいました。「指先の良い運動になるわ～」と皆様、集中して取り組んでいらっしゃいました。



喉を詰まらせないために

これからの時期、ごちそうを食べる楽しい機会が増えるのではないのでしょうか？お餅を食べて喉に詰まらせてしまうニュースも毎年きかれます。実は、お餅以外にも喉つまりを起こしやすい食べ物がありますので、ご紹介いたします。

喉につまりやすい食べ物

魚介類・肉類

弾力があり噛み切れなかったり、十分にこまかにならないまま飲み込んでしまうとのどに詰まらせてしまいます。



おにぎり

米をぎゅっと握り、米同士がくっついた状態であることや海苔で巻かれているため噛み切りにくさがあります。唾液が少ない方や飲み込む力が弱い方は注意が必要です。



ナッツ類（ピーナッツなど）

水分が少ないまま、口の中で細かくなることで詰まりやすくなります。また、噛む回数が少ないとかけらや粒がそのまま喉につまる原因になります。



フドウやトマト（球状の食品）

水分が多く表面がつるつとしていたため、そのまま喉の奥に入ってしまう事があります。ミニカップのゼリーなどにも注意しましょう。



年齢を重ねると噛む力、飲み込む力の低下や歯のかみ合わせが悪くなったり唾液の量が少なくなるなどの理由で喉がつまりやすくなります。小さなお子さんにも注意が必要です。

予防方法

- 姿勢を正し、集中して食べることを心がけましょう。
- 食べやすい大きさに調理しましょう。
- ゆっくり、よく噛んで食べましょう。
- 水分の少ない食品を食べる時は、汁物などの水分も用意しましょう。
- 球状の食品は、丸ごと食べず、カットして食べると安心です。

